

目にはきつて家なき一く煙を立てやらず灰は飛散を
面うぬ世の人毎にうらやまは我の歳あぶやうだより
あはれし海せしそちのうらやまは年ゆきて陰居し
後こそあせとば新づべけしなむやぶる方とあま
しきまゝ依て人の命は不定なる事ハ風雨陰陽
言の如く日、月、星の如く解る我の命も遠
り志死老若後もし是立老後ハ若キより弱く病中
は健る時より弱く平素より終る無きく今
生より後生ハ悲しき事なり

おめ浮業を修む一一生善ありお代の業必自然に
て現世より死後へ所謂五逆十惡ハ地獄現前
悪疾闇翳ハ畜生現前と五戒十善ハ人天現
と楞嚴經に曰衆生憶念佛理前當來必定見佛と
如何なるば多生の慣習と以て妻より愛と違へ財寶
と金と止りて妄想是より起る淫新病の苦また
加ふ心痛寒熱知意乱れて氣息喘息心念と失却し
妄想と感へ終る者後必迷倒なりん因果の理目
は觸して多し然るに多くは臨終の念とて思ふ人